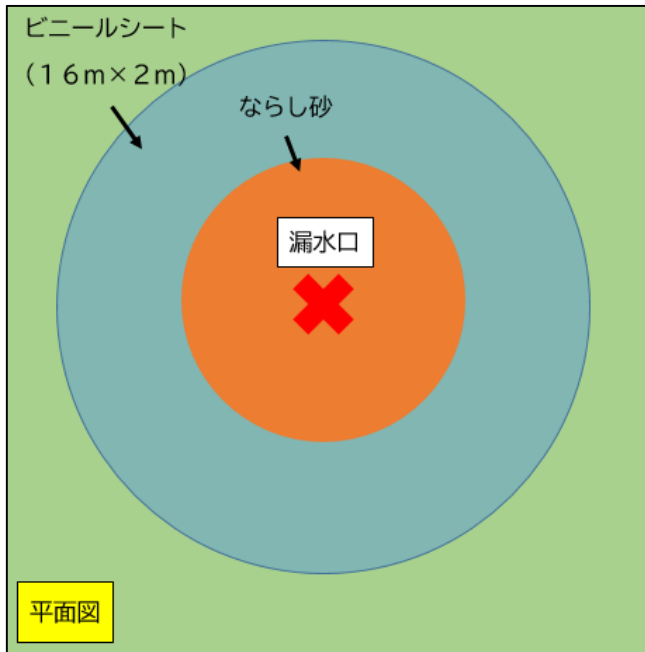


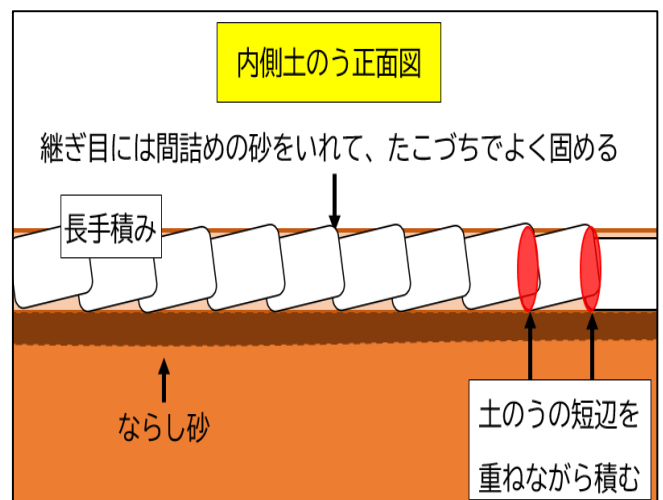
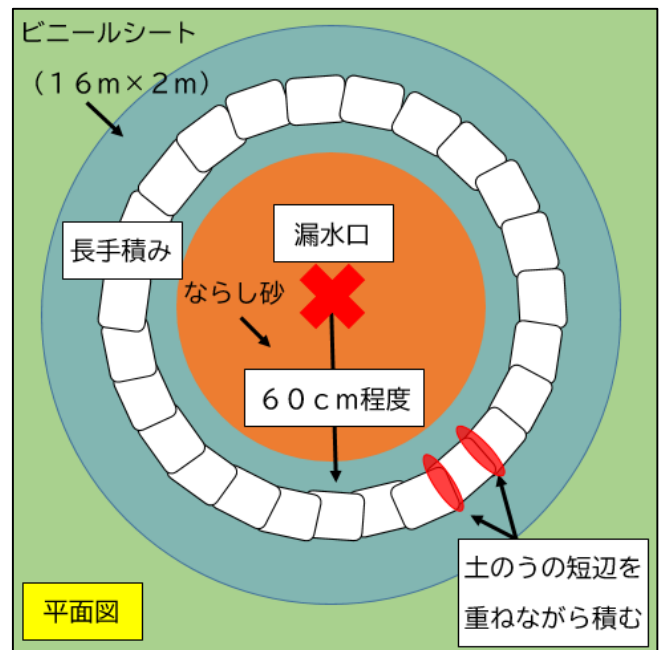
2 釜段工（1/3）

（１）平になるように、地面に砂をならす。ビニールシート（１６ｍ×２ｍ）を円形に敷く。



（２）漏水口を中心に、半径 60 c m 程度の円形の輪を、長手積みで作る。土のうの短辺が少し重なるように積むことに注意。

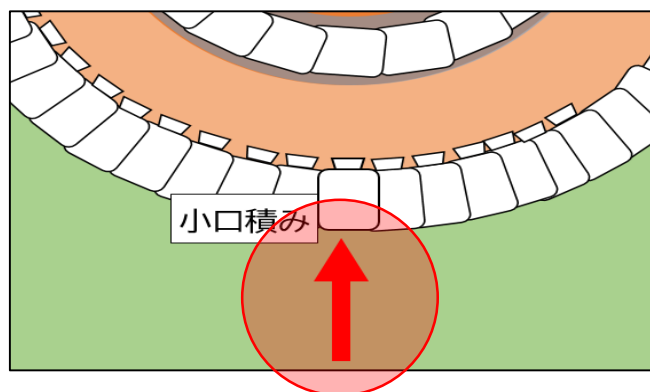
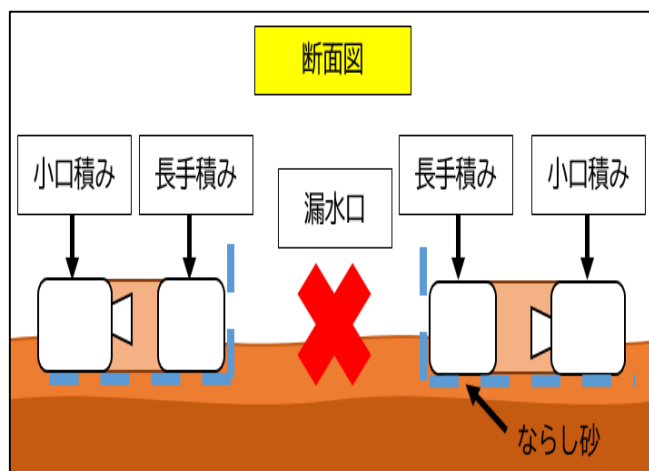
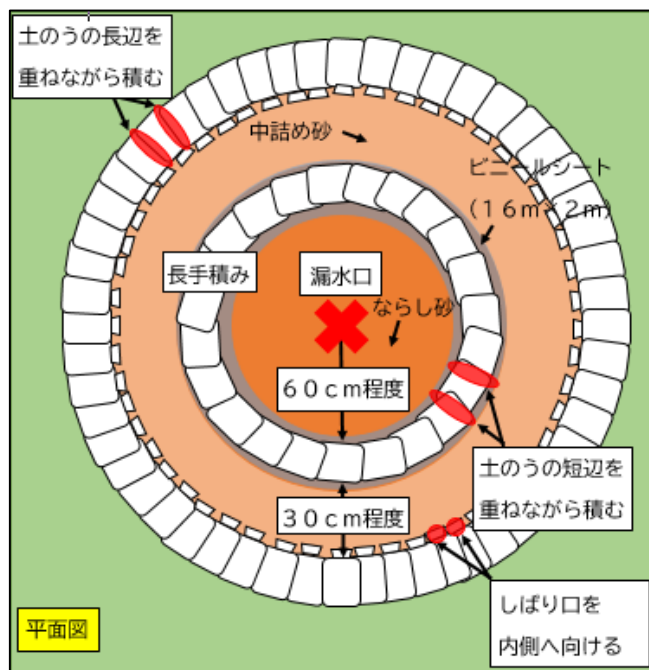
継ぎ目には間詰め砂を入れて、たこづちでよく固める。



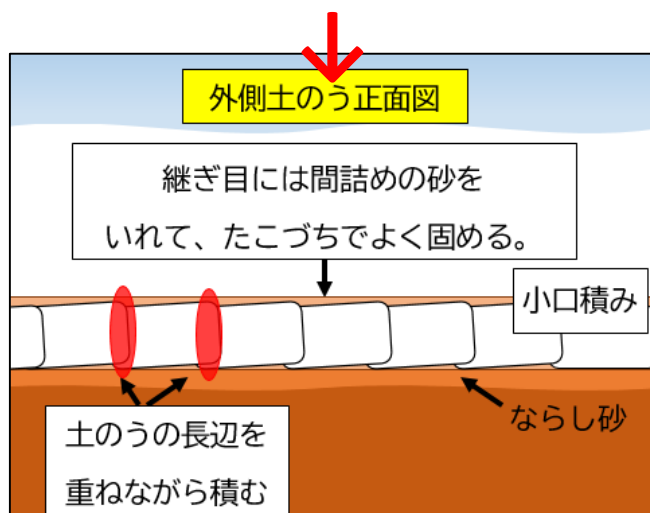
2 釜段工（2/3）

（3）内側土のうのうから30cmほど離して、外側土のうを小口積みで並べる。継ぎ目には間詰め砂を入れて、たこづちでよく固める。

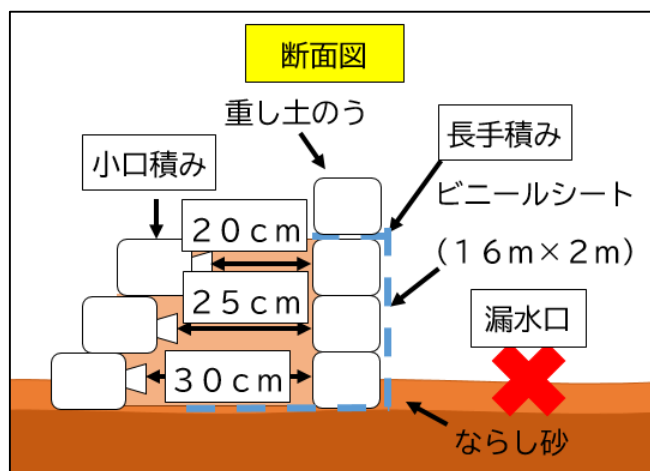
内側土のうと外側土のうの間に、中詰め砂を入れ、たこづちでよく固める。



こちらの方向から見た図



（4）（2）～（3）の要領で、2段目と3段目を積む。
内側の土のうをビニールシートで織り込み、重し土のうをのせる。

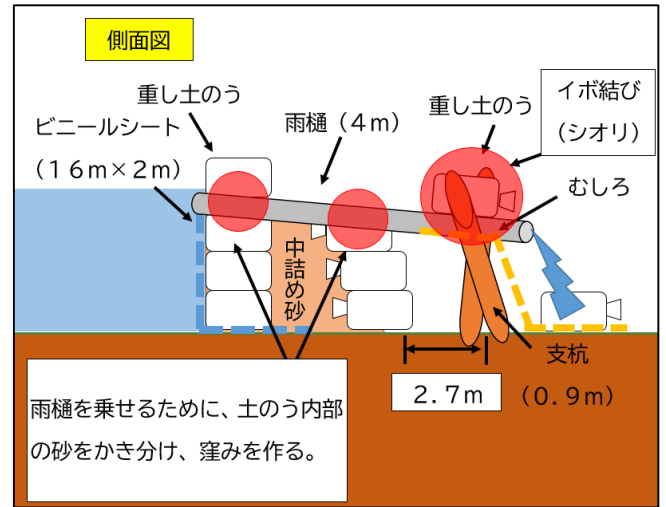


2 釜段工（3/3）

（5）外側土のうから2.7mの位置に支杭（0.9m）を2本打つ。

むしろを敷き、雨樋（4m）をやや斜め下にして取り付け。

重し土のうを乗せ、土のうと雨樋を、藁縄（7m）を用いてイボ結び（シオリ）で固定する。



2 釜段工

資材（1組あたり 半径60cm）						
土のう (線無し)	ビニールシート (16m×2m)	雨樋 (4m)	藁縄 (7m)	支杭 (0.9m)	むしろ	砂
300袋	1枚	1本	2本	2本	1枚	2m ³
器材						
竹箕	たこづち	スコップ	掛矢	鎌		
5個	2個	5個	1個	1個		